

イワガニ科はイワガニ亜科，モクズガニ亜科，ベンケイガニ亜科，ショウジンガニ亜科から成るとされていましたが，最近の研究ではそれぞれの亜科を科に昇格させています。ケフサイソガニは高知県で「つがに」と呼ばれているモクズガニと同じモクズガニ科に属します。

1 ページの写真は成熟した雄で，ハサミに軟毛の束があり



ケフサイソガニの雄，2004年3月9日灘で採集。

ます。雌のハサミには軟毛の束がありません。このようなグループは他にもあります。本種は，雄も雌もハサミの外側と頬から胸にかけて小斑点があることで他の種と区別できます。

右の写真で小斑点が確認できると思います。このカニはまだまだ若い個体ですが，明らかに雄と分かります。軟毛の束がハサミの付け根に限定されるのも本種の大きな特徴です。

ケフサイソガニは成長しても甲幅が3センチ前後の小型種です。浦戸湾では，マガキの死に殻に潜んでいる若い個体を観察できます。



2004年4月20日衣ヶ島で撮影。

2004年1月12日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）でお願いします。

[訂正：No. 20で，ホンコンイシガニの命名者をFabriciusとしましたが，De Haanの誤りでした。ここにお詫びし，訂正します。]